



平成24年度(2012年度)大津市立栗津中学校

第1回校内研究会

平成24年6月14日(木)

■研究テーマ「“学び合い”から理解を深める教室づくり」

＜本日のねらい＞

①「生徒に考えさせる, 気付かせる」ために, 教師の役割(聴く, つなぐ, もどす)のあり方を探る。

②授業の工夫改善に努める。

- ・教師の言葉を減らす。
- ・教室を活性化させる課題の設定。
- ・実物を持ち込む。
- ・適切な作業を取り入れる。
- ・視聴覚機器(テレビ)の活用。 など

●平成23年度の課題●

- ・教師がしゃべりすぎている。もっと言葉を減らすことが必要。
- ・講義形式の授業に終始せず, 生徒同士の話し合いを増やすこと。
- ・グループ学習の生かし方, 課題の与え方, 学習の考え方など。

＜授業を見るポイント＞特定のグループに着目して観察してください。

① 生徒がどう言葉をつなぎ合い、どこで学んでいたか、いなかったか

②教師はどのような働きかけ・工夫をしたか

■日 程

午前中の公開授業(3年所属教師全員)

可能な限り, 教員間で参観する。

校時	学 級	教 科	授業者	単 元 名	場 所
3	3-2	理 科	大 國	宇宙と地球	3-2
3	3-3	体 育	土屋・市田	陸上競技	グラウンド
4	1-2	音 楽	中 村	アルトリコーダー	音楽室
4	2-4	技 術	坂 野	インターネットを使ってレポート作り	コンピュータ室
4	3-1	数 学	西 田	平方根	3-1
4	3-2	国 語	北 居	熟語の読み方	3-2
4	3-4	英 語	辻 井	現在完了<経験>	3-4
4	3-5	社 会	西 本	グローバル化	3-5
4	7	数 学	東	買い物で個数や値段を考えよう	7

13:10～ 帰りの会(全学年), 下校, 部活動なし

13:30～ 5校時 3-2 英語「現在完了(経験)の活用」

授業者: 三浦慶子 場所: 視聴覚室

14:20 5校時終了, 下校

14:35～ 全体研修会(於: 視聴覚室)

- | | | |
|------------|-----|-------------|
| ・学校長挨拶 | 5分 | 14:35～14:40 |
| ・実践交流 | 20分 | 14:40～15:00 |
| ・公開授業研究協議 | 50分 | 15:00～15:50 |
| ・指導講話 | 50分 | 15:50～16:40 |
| 愛知文教大学人文学部 | | 講師・倉知雪春先生 |
| ・謝辞・挨拶 | 3分 | 16:40～16:43 |

■役割分担 司会(大國)
会場設定(みんなで)

記録・ビデオ(小幡)
連絡調整接待(吉田)

「実践交流」の持ち方について

1. 実践交流のねらい

- (1) 「学び合い」を生かす授業実践について、各教科で取り組んでいる内容を発表・交流し、教科の枠を越えてその成果と課題を共有する。
- (2) 発表者の立場では、自分の実践をあらためて見つめ直す機会とする。また聴き手の立場でも、積極的な姿勢で発表を聴いて、自分の実践と比較し見つめ直す機会とする。
- (3) お互いの実践から学び合うことを通して、教師間の同僚性を高める。

2. 実践交流の内容、方法 今回の担当・・・2年

内 容：「学び合いを生かすヒット授業案」にもとづいて実施した授業について、生徒の反応や得られたこと、課題として残ることなどを発表する。

時間設定：20分（発表10分＋質疑10分）

発表者：発表者を4～6人設定する。発表者は各ブースで発表をする。

聴き手：発表者以外は聴き手となる。質問や意見などを交わす。

：1つの発表に対して、質問や感想等を必ず1人1発言を！

：4～6人の発表に対して聴き手の人数がほぼ均等になるよう、その場で調整する。

：学び合い等についての議題もこの中で深める （みんな大人なので協力してくださいね）

3. 時間設定（全体研修会14：35～16：55の中で）

・実践交流 20分 14:40～15:00（説明10分 質疑10分）

4. 発表者（以下の先生方をお願いします）

■金澤(国語) ■武田(社会) ■市田・伊藤(体育) ■窪田・田村(英語) ■石川(理科)
■中村(数学) ■小島・中嶌(特別支援教育)

5. 発表者が準備する資料

・まとめレポート（A4用紙1枚、最大でも2枚まで）

【指導略案】＋【授業の様子、成果と課題、授業を終えての所感、生徒の感想など】を必要に応じて

6. 今後の展望

全員がレポートを提出して下さい。学年で綴ります。

7. 会場イメージ図

